



筑摩だより

松本市立筑摩小学校
令和8年8月 発行
松本市筑摩1-8-1
電話 25-0090

歩みはじめた1学期

7月24日（金）に1学期の終業式を行い、74日間の1学期を終えました。

ここまでの学習や活動を振り返ると、運動会や児童会、自由進度学習、フリースタイルプロジェクトなど、子どもたちが企画から参画したり、自分の学びを自分で計画してチャレンジしたりと、子ども主体の活動になるように取り組みはじめた1学期でした。また、その様子を近隣の小中学校の教職員に公開し、私たち教職員も授業力の向上や子どもたちが笑顔で学校生活を送ることができるよう研鑽を積んでいます。この取り組みが一過性のものでなく、より定着し、子どもたちの力となっていけるように2学期も様々なチャレンジをしていきたいと考えています。

また、1学期は「クマの目撃情報」が多発し、保護者の皆様への子どもたちの引き渡しや送迎のお願い、美ヶ原登山の行程変更など一部行事の変更があり、保護者の皆さまには急なお願いをすることが多々ありました。そのたびに、迅速なご協力をいただき感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。いつやってくるかわからない災害や天候の変化も含め、2学期も子どもたちの安心・安全を一番に考え、保護者の皆様、地域の皆様のご協力を得ながら対応していきたいと考えています。よろしくお願いいたします。

終業式では、夏休みのバンドフェスティバルやNHKコンクールに出場する金管バンドや合唱団のすてきな発表がありました。



【国語】自分で取り組みたいプリントを選ぶ1年生



【図工】鑑賞カードを見て、感じたことを率直に伝えあう4年生



【自由進度学習】自分で学び方・学ぶ場を選びながら学習する6年生

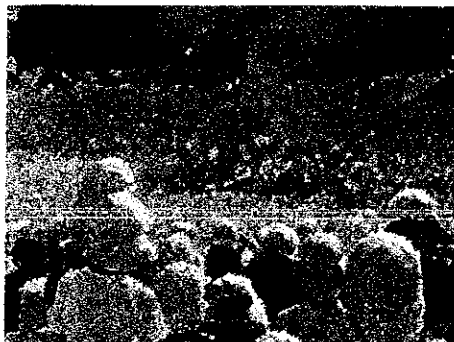


筑摩小学校では、今年度の研究テーマを「一人一人の多様性を認め合える授業づくり」とし、子どもたちに少しでもわかる授業、楽しい授業となるためにはどうしたらいいのかを考え、職員間で授業を見合ったり、話し合ったりしています。

（7月15日東部ブロック小学校6校合同の研修会より）

7月の様子

日々の生活によりそった学習を展開する低学年



七夕飾りの焚き上げ



声掛け対応防犯教室

七夕飾りを前庭で焚き上げました。子どもたちは勢いよく燃える様子にびっくりしながらも、短冊に書いた願いを思い出し、叶うように祈っていました。

また、声掛け対応防犯教室では、知らない人に声をかけられた時に、どのように対応したらいいのか、講師の先生と子どもたちが一緒になって真剣に考えあいました。

大盛況の「庄内地区やまびこ子どもまつり」



4年1組「きゅうりの1本づけ」



開会行事の進行

7月18日(土)庄内地区公民館で行われた「庄内地区やまびこ子どもまつり」では、イベントを楽しむだけでなく、運営やお店のお手伝いに取り組む子どもたちの姿も。4年1組が育てたきゅうりも合わせて販売した「きゅうりの1本づけ」は暑い夏にはぴったりの一品。大好評で売り切れました。楽しいおまつりを準備・運営してくださった地域・保護者の皆さまに感謝です。ありがとうございました。

CS 主催の「和菓子づくり講座」が開催されました。講師に「出川 磯村」の古川さんをお招きし、和菓子づくりの極意を学ぶとともに子育てに関する交流も行なわれ、和やかな会となりました。皆様の次回のご参加、お待ちしております。

また、8月14日には100周年記念行事の一環でタイムカプセルの掘り起こしが行われました。久しぶりに再開した級友と思い出話や近況を話したり、思い出の品を懐かしんだりしました。



↑CS 主催 和菓子づくり



100周年記念行事タイムカプセルの掘り起こし↑

お知らせとお願い

体育館の貸し出し(カギの受け渡し)の方法が、9月より“スマートロック方式”に変わります。体育館入口にあるスマートロックに表示されるQRコードをスマートフォンで読み取り電子キーボックスを開けて、カギを取り出したり、もどす方法になります。ご承知おきください。詳しくは松本市のホームページをご確認ください。